



AKKプラス
加藤 賛汰
KATOU SANTA

1999年 柏崎市出身
2022年 ㈱AKKプラスへ入社

AKKプラスは、市内の企業経営者が集まり発足した「明るい柏崎計画」という任意団体から発案されたアイデアを事業化し、地域を盛り上げることを目指す会社。柏崎エリアにある飲食店、食料品、生活サービスなどのお店情報を一覧できるお店情報アプリ「かしチケ」の管理・運営の他、「はなまるクーポン」、「いい湯めぐり」、「柏崎GOTOみ～そ」など、スタンプラリーイベントの委託運営を行う。また、柏崎青年工業クラブ会員の会社、それぞれが制作したコマをガチャガチャで販売する等、さまざまな企画や事業に携わっている。

AKKプラスの社員として働く加藤賛汰さんは、新潟産業大学の学生時代から地元のイベント活動に参加。そのままAKKプラスへ入社し3年目の春を迎えた。高校時代はロボットの制作に没頭したといい、大学時代は学友会で活躍。写真部では耳の聞こえない方向けの写真講座にサポーターとして参加したり、市展に作品を出品したりした。軽音部ではドラムを担当していたが、中学時代にYouTubeで知ったペルー発祥の打楽器「カホン」を独学で学び、大学3年時から「アコース

ティックサウンド蛸」のメンバーとして活動。パーカッションを担当し音市場や県内外のさまざまなライブに参加している。

AKKプラスの経営理念は「まちの困りごとを、ビジネスを通じて解決していく」。利益優先ではなく柏崎のためになるような事業。例えば、新型コロナウイルスの流行時には「柏崎エール飯」で市内の飲食店のテイクアウト情報を発信。「エール飯弁当」ではテイクアウト弁当を市役所や企業に納品する事業を展開した。当時、大学生だった加藤さんも受注管理やスケジュール調整などを行った。加藤さんは入社後に運用が始まった「かしチケ」を担当する他、昨年は「柏崎刈羽エール旅」でスタンプラリーとフォトコンテストを開催。2か月間でSNSにアップされた写真は1300枚を超え、市民に地元を体験してもらい地元の人たちから地域の魅力を発信してもらおうという企画に多くの反響が集まった。「やりたいと思った企画をそのまま形にできる。目の前で喜んでもらえることがうれしい」という。

加藤さんは他にもいろいろな活動に貢献する。例えば、行政と民間が連携して移住・定住に取り組むため設置された「柏崎移住・定住推進パートナーチーム」では、移住を検討している方へ向けたマッチングサイト「くじらと。」を作成。施策の提案やコンシェルジュとして相談に応じるなど、柏崎の未来を模索している。

また、昨年から友人とタコスのテント販売を始め、「タコス・パラダイス」の名前で県内各地のイベントに出店。手段を問わずに柏崎を少しでも面白くできるような活動を続けていきたいと話している。



お問い合わせ

株式会社 AKKプラス
柏崎市田塚3-3-38
(株式会社テック長沢 田塚工場内)
☎070-8570-8572



ホームページ



Instagram